

パール通信

vol.3
2.17.2010



p2

イベント報告

- ビジネス交流会

役員会報告

- 平成二十一年度 第三回役員会・新役員あいさつ

p3

イベント報告

- 親睦会

会員活動報告

- 古川学園料理教室

p4

連載企画

- 「親バカ子自慢」 第三回
有限会社川村漬物製造所 川村翔平さん
- 「組曲～コラボの現場～」 第三回
花まゆ(桑名市・四日市市)

p5

会員活動紹介

- 有限会社 キャリア・プレイス(津市)
- AQUALUXE(アクアリュクス)(四日市市)

p6

連載コラム

「ビューティーコンサルタント林かづの
伊勢志摩魅力再発見！」

p7

プレイバック2009

p8

インフォメーション

- パール倶楽部より会員様へ……
- パール倶楽部イベント案内
- 編集後記

イベント報告

ビジネス交流会

「夢持って挑戦を」

三重トヨタ自動車株式会社
代表取締役会長

竹林氏が講演

【四日市】女性を対象とした伊勢新聞パール倶楽部（中川千恵子会長）主催のビジネス交流会が五日、四日市市元町の料亭寿美家であり、三重トヨタ自動車株式会社代表取締役会長竹林武一氏が「人生今が出发点（未知への挑戦）」と題して講演、七十人が参加した。

竹林氏は、今の自分が将来をつくると説き、「鉛筆のような芯のある人間になるため、勉強し、本を読み、新しい世界へ挑戦して自分の身を伸ばしてほしい」と力説。小さな夢を片付けながら大きな夢へ近づけていくことが大切とした。

自らも平成十二（二〇〇〇）年から毎年、ホノルルマラソンに挑戦していることを紹介。「夢こそが意欲を保つ秘訣」と話し、「仕事や自分のため、地域のため、子どもたちのため、社会のため、夢を持って未知の世界へ飽くなき挑戦をしてほしい」と呼び掛けた。時折ユーモアを交え、機知に富んだ話術で参加者を楽しませていた。



講演する竹林氏＝四日市市元町の寿美家で

（平成二十一年十二月六日付 伊勢新聞掲載）

場 所……料亭 寿美家
主 催……株式会社伊勢新聞社
協 賛……三重トヨタ自動車株式会社
料亭 寿美家

役員会報告

平成二十一年度 第三回役員会

二月一日、津市本町の伊勢新聞社内にて平成二十一年度第三回伊勢新聞パール倶楽部役員会が開かれた。

冒頭で中川千恵子会長は「三月にはパール倶楽部初めての総会があります。みんなで盛り上げていきましょう」と挨拶。

各自紹介の後、三月の総会に向け、会則や来年度事業計画などについて話し合われた。

また、同会の監査に土川禮子氏が就任し、新たに理事として塩川病院理事長の田中彩子氏、角仙合同株式会社代表取締役社長の村田典子氏が加わることで決まった。



新役員二名を迎え開かれた第三回伊勢新聞パール倶楽部役員会＝津市本町、伊勢新聞社応接室で

●新役員あいさつ



理 事 田中彩子

鈴鹿で医療・介護の事業を運営しています。女性が健康に暮らしていけるような社会が来ることを願っています。



理 事 村田典子

女性がパール倶楽部を通じて三重県で元気に活動できるようにつとめさせていただきます。

出席者

会 長 中川 千恵子
副会長 小笠 原 まき子
副会長 水谷 太美
理 事 儀賀 美智子
理 事 田中 彩子
理 事 村田 典子
監 査 土川 禮子
司 会 藤田 聡
カメラ・記事 佐飛 宏尚

イベント報告

親睦会

おいしいちゃんこ鍋に舌鼓

力士料理 & 居酒屋 金鍋で親睦会

伊勢新聞パール倶楽部（中川千恵子会長）主催の親睦会が一月二十九日、津市南丸之内の力士料理&居酒屋茶屋 金鍋で開催され、二十人が参加した。
 同店のちゃんこ鍋の調味料は同倶楽部会員である株式会社辻岡醸造（倉田志子さん）が製造する、さしみ醤油『横綱』と不二醤油『横綱』を使用。
 参加者は女将の平松佐智恵さんが話す「ちゃんこ鍋」や「相撲」の世界に造詣を深め、特製のちゃんこ鍋に舌鼓を打った。



おいしいちゃんこ鍋に舌鼓を打つ会員＝津市南丸之内の力士料理&居酒屋 金鍋にて

場 所……力士料理&居酒屋茶屋 金鍋
 （津市南丸之内九一四三三）

主 催……株式会社伊勢新聞社

協 賛……力士料理&居酒屋茶屋 金鍋

☆平松女将より

四月五日には大相撲津場所が十二年ぶりに開催されます。

私は、日本の国技である相撲の普及と開催地である津の活性化に奔走する毎日でございます。

この度、伊勢新聞社様のご好意で、パール通信に大相撲津場所のチラシを封入させていただいております。

減多にお目にかかることのない力士達を是非間近で体験してみてください。なお、椅子席・たまり席は僅少となっております。

会員活動報告

古川学園料理教室

洋食と洋菓子の基礎学ぶ

本格フランス料理と洋菓子の基礎を学ぶことができる「フレンチ&スイーツツキング!!スクール（講師 学校法人古川学園 中部調理製菓専門学校 学科長 奥村仁）」が一月二十二日、四日市市浜田町の同校にて開催された。
 パール倶楽部会員からは、小林三代子さん・白石和子さん・中川榮美子さん・松田ゆかりさんの四名が参加。

『鰯と鮑のパートブリック包み二色ソース』『ポトフ』『チョコスクエアケーキ』の三品を学んだ。



真剣な眼差しで講義を聴講するパール倶楽部会員と参加者＝四日市市浜田町の学校法人古川学園 中部調理製菓専門学校にて

同スクールへ参加した感想として、「家庭で作るのには難易度が高いですが、勉強になります。月一回の豪華なディナーとして毎月楽しみにしています」と白石和子さん。

石和子さん。

「料理の専門性と材料へのこだわりが魅力ですね。また、先生の指導も丁寧で嬉しいですよ」と小林三代子さん。

同スクールへの評価は高く、自らの料理技術を高めようと四名は講義を聞き漏らさぬよう最後まで熱心に耳を傾けた。

今件に関しての問い合わせは

059(352)2214（学校法人古川学園 中部調理製菓専門学校）

親バカ子自慢

連載コーナー①

当時、三重県内でサービス業をしていた川村翔平さん（27）は三代目で社長を務める父・清志さんとの会話からこぼれた何気ない一言を聞き実家の有限会社川村漬物製造所の四代目として、社を盛り上げて行く決意を固める。

同社は創業が昭和二十八年五月。二代目の祖父・川村英一さんにより有限会社として創立。

半世紀以上県内外の食卓へ漬物を届け続ける。

これは、世代が変わっても受け入れられる商品造りに日夜真摯に向き合った結果といえよう。また、化学調味料や合成着色料に頼らず、現在も同社は茄子

化学調味料や合成着色料に頼らない 味を追求 有限会社 川村漬物製造所

の葉や柿の皮などで味付けを施した昔ながらのぬか漬の味・文化を大切にしたい漬物造りを貫いている。

「四代目としての最終目標は全国展開を念頭に置いております。今年早々には伊勢市の土産物屋へ当店一押し伊勢たくあんをお土産物として納品することになっていきます。これは、県内におけるお土産物展開の第一歩として大きな飛躍ではないかと考えます」と翔平さん。

「まだまだ、入社して一年と日は浅いですが、川村漬物製造所の四代目として立派に成長してほしい」と同倶楽部会員の川村明美さんは息子の翔平さんへ期待を寄せる。

社を盛り上げ従業員へ活力を与え続ける翔平さんの責任感と息子を支える明美さんの親心に拍手を送りたい。



四代目として社を盛り上げる川村翔平さん＝津市久居明神町の有限会社川村漬物製造所で

かわ むら しょう へい
川村 翔平さん

職業……営業

年齢……27歳

趣味……映画鑑賞

繭が持つ美しさを表現



連載コーナー②

パール倶楽部会員の加藤穂子さんと、中島廣美さんは、四日市と桑名でそれぞれ花まゆ教室の講師を務め、花まゆの普及に一役買っている。

「花まゆ」は蚕の繭を使って制作する造花で、繭そのものが持つ形の美しさを生かす表現に特徴がある。

「染みがついて生糸として使えず、廃棄処分されていた繭を養蚕業者から仕入れて使う為、環境にも優しく、国内の養蚕家の人達の助けになっているのも嬉しい」と二人は語る。

共同で制作した作品には、チューリップをイメージしたものや、ミニシクラメンをイメージしたものがあり、特殊な技術で中まで染められた国産の繭を使い、繭が元々持っている良さを損なわないよう、一つ一つ花の表情を作っている。

現在は今年6月に上海で開催される万博のレセプションに出品する為、大作を作るメンバー達の一員として制作活動をしている。

今後は展示会や教室を続けていって、三重県で花まゆを広めて行くのが目標だという。

二人の思いが紡がれて生まれる花まゆには、透き通るような愛らしさと、優しさが表わされているような気がした。



中島廣美さん（左）、加藤穂子さん（右）

花まゆ（桑名市・四日市市）

会員活動紹介

消費者と社会をつなぐ架け橋

有限会社 キャリア・プレイス

「時代に後押しされて、ここまで来ました。今後は女性のロールモデル（行動の規範となる存在）の1人として地域力を育てる仕事をしていきたいですね」と話すのは有限会社キャリア・プレイス代表取締役を務める伊藤登代子さん。

戦後、世界第2位の経済大国となった日本。しかし、元号が平成と変わった世でも性別役割分業化された風潮が根強く、女性が安心して働く場の確保は容易ではなかった。

そこで同氏は起業への道を思い立つ。

当時、女性の社会進出が日進月歩の一途を辿っていた愛知県で37歳から2年間起業と女性学の勉強を始め、平成9年には三重県初の女性自立支援NPO“あいむネット”設立という偉業を成し遂げる。

その後、平成16年には事業活動の幅を広げるために別途『有限会社キャリア・プレイス』を設立。

現在は、女性モニター1000人を活かし消費者目線の覆面調査やマーケティングリサーチ業で企業の販売促進サポートを展開。

同社は、個々のパワーを組織力に変えてビジネス社会に

活かすとともに、生活者・女性の声を世に届ける。

「弊社のマーケティング調査は不況の世であっても業績アップにつながると好評を得ています。今後は、クライアントとの関係をより密にしアドバイザーとしての役割も果たして行きたいですね」と同氏。

消費者と社会をつなぐ架け橋となる同社は、今後も県内活性化の一翼を担う。

有限会社キャリア・プレイスが発行する女性の本音を満載した情報誌『マイストーリー』を持つ伊藤登代子代表取締役＝津市高茶屋小森町の同社内で



住 所：津市高茶屋小森町 2892-157 神和ビル2F
お問い合わせ：059(238)3087
営 業 時 間：9：00～18：00
定 休 日：土・日・祝日
U R L：http://www.ca-place.jp/monitor/

カップル一組一組に合わせた挙式が魅力

会員活動紹介

株式会社シャンテの代表取締役を務める浅田孝枝さん（四日市市日永の結婚式場AQUALUXE（アクアリュクス））で



AQUALUXE（アクアリュクス）
『優美な水』をコンセプトとし、館内のいたる場所から水音を感じることのできる設計が魅力の結婚式場AQUALUXE（アクアリュクス）。
人生最大の感動を当事者に与える挙式は、カップル一組一組に合わせた十人十色の非日常を演出する。
館内は全てバリアフリーであり、老若男女問わず快適な時間を過ごすことができる。
同時場は二〇〇八年三月、四日市市日永にオープン。
名古屋市内に本社を置き、ブライダル事業などを東海地方で展開する株式会社シャンテ浅田孝枝代表取締役が統括を行う。
形だけにとらわれたウェディングは行わず、打ち合わせの段階からカップルと式場スタッフが一丸となり、まるで映画を作製していくよう一コマ一コマ丁寧に作り上げる。
「一組一組のお客様を大切にし、結婚式の大切さ・素晴らしさを伝えて行きたい」と浅田代表取締役。
挙式当日には今まで幾度となく打ち合わせを重ねた安心と信頼から満足のいく式を挙げることはできるのではないだろうか。

住 所：四日市市日永1丁目2-41
お問い合わせ：059(345)7770
営 業 時 間：10：00～19：00
定 休 日：不定休
U R L：株式会社 シャンテ http://www.chanter.co.jp/
AQUALUXE（アクアリュクス） http://www.aqualuxe.jp/

ビューティーコンサルタント 林かつの

伊勢志摩 魅力再発見！

vol.3

こんにちは。＼伊勢志摩の癒しのパワーで もっとキレイに健康に！＼をコンセプトに地元の人々や観光客に美容と健康のアドバイスをしている林かつです。

今回は、「伊勢志摩の癒しのパワーでキレイをさらにアップする方法」についてお話ししよう。

寒いこの時期は、静電気に悩まされますね。この静電気を大地に流すヨガのポーズがあるのをご存知ですか。冷蔵庫や電子レンジについているアースは、大地に電気を流すというものです。ヨガの代表的なポーズにもこの作用と同じようなことをする「太陽礼拝」というものがあります。このポーズは手の平を太陽にかざし太陽に感謝し、その「よい気」を取り入れ、次にその手を地面に置いて大地に感謝しつつ、体の中に溜まった毒素や邪気を大地に流します。（浄化）

このことと同じようなことが、伊勢神宮にお参りする時に玉砂利を踏みしめながら参道を歩くことなんです。お参りした後、スッカリとした心持ちになれるのは、神宮にあるたくさんの巨木からのよい気が取り入れられ、玉砂利の上を歩くことで邪気を流し、玉砂利がアースの役割をしているからなんですね。リフレッシュしたいなと思ったら、是非伊勢神宮に参拝にいきまし

よう。

さて、そんな伊勢志摩の大自然をさらに満喫できるのが、「海とお城を見ながらラウンドできるゴルフ場『富士OGMエクセレントクラブ伊勢二見コース』です。天気がいい日には鳥羽湾が、そして隣には『ちよんまげワールド伊勢』があり、安土城が見えます。最近では、ゴルフブームということもあって、お洒落なウェアをまとったカップルや女性の方々も多いです。みなさんリゾートを楽しみながら、にこやかにゴルフを楽しんでみえます。このように「楽しむこと」が免疫力アップにも有効と言われているので、＼いつも美しく、健やかにいられること＼に繋がっていくんですね。

さあ、皆さんも是非「伊勢志摩のパワーでキレイに健康に」になりませんか。



富士OGMエクセレントクラブ伊勢二見コースでゴルフを楽しむ女性たち

プロフィール

● 林 かつ

鳥羽市在住。伊勢市出身、伊勢高校卒。ビューティーコンサルタント、ヨガイストラクター、レイキヒーラー、お宿アドバイザーとして伊勢志摩地域で活躍中。伯父は宇治山田商業高校卒、元読売巨人軍ピッチャーで現・JR東海ピッチングコーチ中村稔氏。

プレイバック2009

会員の皆さんに2009年を振り返ってもらいました



有限会社 グリーンハウス
林 京子

デフレの象徴の業種であるジーンズカジュアルショップを営んでいます。昨年は680円800円ジーンズ叫ばれていましたが「本物は何だろう」と自分に問いかけてきました。

お客様に「本物デニムパンツを穿いていただきたい」という思いで1年間やってきました。

社会情勢も厳しいものになってきていますが、社員全員一丸となってこの不況を乗り越えて行きたいと思っています。

自社の理念は、「お客様の喜びと社員の幸せ会社の成長」この三つを一つ一つ噛み締めながらこれからも行動していきたいです。

よろしくお願い致します。



ぽぽらあと あうら
浜口 依子

パール倶楽部の皆様、はじめまして。

私は、津市安濃町にて初心者向パソコン教室を営む浜口依子と申します。

『あっと言う間の一年』月日が早く感じるというのは毎日が充実している事だと以前に何かで読んだことがあります。その通りで、毎日が充実していました。キャッチコピー『パソコンの嫌いな人のパソコン教室』を考えましたが、十分に宣伝することが出来ませんでした。ただ自分の中で何かが芽生え小さな自信となりました(笑)。

その小さな自信をもってやっていく上で、新しい出会いが沢山ありました。

又、苦手だったものが好きになる時、隣に自分がいて一緒に喜ぶことができるとても素晴らしい体験もでき、そんな素敵な宝物をいっぱい頂きました。

へこんだり躓いたりもしましたが、自分にとっての宝物が1つつ増えていくことが力となった1年でした。



中里建設株式会社
須藤 慶子

パール倶楽部に関われたことは私にはとても意味のあることでした。

私は父の代より四日市で土木会社を営んでおり現在も主人と共に会社を切り盛りしています、景気の影響とはいえ地元から元気がなくなることに寂しさを覚えていました。

そんな時友人からパール倶楽部のイベントに誘ってもらいました。

人と人、企業と企業、しいてはこの世は歯車だと思えます。

歯車は噛み合わせが上手くいかない

とまわりません。

今はコミュニケーションによる噛み合わせが悪いために経済もまわらないのでは？と思います。

コミュニケーションは歯車の潤滑油。パール倶楽部はそのコミュニケーションの場となる歯車の軸ではないかと思えます。

年令、業種の枠を越えて様々な方とお知り合いになれるのを楽しみにしています。そしてみんなが一つになり三重県を日本を元気にしたいという気持ちでそれぞれの会社、企業を活性化させることが歯車を回すエネルギーを作り出す事に繋がると思えます。



さかきや
石井 朋子

昨年の11月22・23日の2日間、椿社の椿会館でフラワーデザイン教室の作品展を開催しました。7回目になる作品展の今回のテーマは「ETERNAL LOVE」(永遠の愛)。生徒達は日頃のレッスンの成果を発揮するべく会場の内外をフラワーデザインの作品で美しく飾りました。また約20点のブーケは生徒がモデルに初挑戦し、ブライダルブーケショーを開いて多くの方に興味深く見ていただきました。2日間で500名のお客様が訪れて下さり、フラワーデザインの無料体験教室はお断りするほどの賑わいぶり、大盛況でした。



DESIGN ROOM OZ
前田 かおり

2009年は、世の中は不安と不信の多い1年でした。政権が16年ぶりに交代しましたが、期待が多過ぎたのか、こたえをすぐに求めたのか、国民の不安不信をカバーしてくれたかどうか。って感じでした。

仕事では、例年にも増して忙しい日々でした。相手のせいにははいけませんが、仕事相手の担当者さんからの冊子・カタログ・HPの依頼原稿が予定より大幅に遅くなる事が何度も…しかし納期のリミットは予定通り…という展開が

何度も。結構体力的にも精神的にもしんどい1年でした。

予定通り事が進む・進めるって結構大変なこと。たったひとつの救いは、止らずに前進する人・企業のお手伝いできている！この事です。

来年度は、社会も「未来への希望・安心」が持てるようになってほしい。微力ながら自分が頑張る事で、小さな加勢をしたいと思っています。

パール倶楽部イベントのお知らせ

●大人気の津都ホテルのランチバイキング&津観音さん見学

日	時：平成 22 年 2 月 27 日（土） 11:30～15:00
場	所：津都ホテル(津市大門 7-15)、津観音(津市大門 32-19)
会	費：2,000 円
講	師：恵日山 観音寺 院家 岩鶴密雄(いわつる みつゆう)氏
演	題：「三重の文化力」(60 分)
協	賛：津都ホテル、津観音

今回は、津都ホテルの大人気のランチバイキングをお楽しみいただきます。

そして、昨年観音開創 1300 年を迎えた日本三大観音である観音寺へ。

住職から展示物のご説明と、お話をいただきます。

歴史を見て、聞いて、みんなで三重の魅力を学びましょう。

パール倶楽部より会員様へ……

●●●●●
会費納入のお願い

詳細については、会報に同封させていただいている「伊勢新聞パール倶楽部平成 22 年度会費納入のお願い」をご覧ください。

●伊勢新聞パール倶楽部設立記念・第一回全体総会へのお誘い

日	時：平成 22 年 3 月 12 日（金） 14:00～16:30（受付は 13:30 より）
場	所：三重県総合文化センター 中研修室 （津市一身田上津部田 1234）
会	費：無料

〈総会議事〉

第一号議案	伊勢新聞パール倶楽部会則の件
第二号議案	平成二十二年度伊勢新聞パール倶楽部予算の件
第三号議案	平成二十二年度伊勢新聞パール倶楽部上半期事業計画の件

●記念講演

講 師：株式会社伊勢新聞社 代表取締役社長 小林千三
演 題：マスコミが書けないマスコミの話

●交流会

会員活動・創作品紹介、取扱商品展示

●申込方法

同封の申込用紙に記入の上、伊勢新聞パール倶楽部事務局まで FAX(059-226-3554) 又は TEL(059-224-0003)にてお願いします。



伊勢新聞パール倶楽部事務局

〒514-0831 三重県津市本町 34 番 6 号
株式会社伊勢新聞社事業部内
TEL:059(224)0003 FAX:059(226)3554
H P: <http://www.isenp.co.jp/plc/>

●メルマガについて

伊勢新聞パール倶楽部事務局は『伊勢新聞パール倶楽部メールマガジン（以下メルマガ）』と銘打つメルマガを 9 月 17 日より月 1 回第 3 水曜日に各会員様へお届けしております。

まだ、メルマガがお手元に届いていない方・メルマガの存在を初めて知った方は伊勢新聞パール倶楽部事務局又は pearl@isenp.co.jp へご一報ください。

その他意見も受け付けております。

●編集後記

昨年 12 月 15 日にパール通信 Vol.2 を発行してから、2ヶ月余りでの Vol.3 発行となります。

今回は発行までの期間が少なく、減ページも止む無しと考えていたのですが人間やれば出来るとは正にこのこと。

なんとか発行できてしまうものなのですね。

さて、昨年は猛烈な円高・デフレーションが目撃されました。

東京銀座では高級ブランド店舗の閉鎖が相次ぎ、国内ではユニクロを代表とするファストファッションが席卷する時代となりました。

そして、IT バブル期に泡銭を掴んだ時代の寵児達の一部は金策に奔走するなど、正に「激動の時代」という言葉があてはまるのではないのでしょうか？

いざなぎ景気超えと騒がれていた時代はつい最近のような気がします。

伊勢新聞パール倶楽部事務局 藤田